

【中学生議会 市長答弁様式1】環境にやさしいまち①

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	たけだ りゅうじ 武田 隆志議員
発言順(通し番号)	NO:16	所 管 課 名	環境課

質 問 事 項	安曇野の地下水について
具 体 的 な 内 容 (質問取り事項)	各家庭や、学校、公民館などの公共の場所などに、 節水しようシールを配布し、水道の近くに貼ってもら う。

【市長答弁】

たけだ
武田議員の質問にお答えします。

事前学習会で学ばれたかと思いますが、安曇野市が進めるまちづくりの基本的理念である「安曇野市民憲章」の一つに、「自然を愛し、水と緑豊かなまちをつくりま
す」があります。

清らかな湧水（つまり湧き出る水）や美しい田園風景が安曇野の原風景であり、安曇野の暮らしは文字どおり、豊かな水環境と一体のもので

そして、この安曇野の地下水・湧水は、「安曇野わさび田湧水群」として国（環境省）が指定した名水百選にも選定されているなど、全国的にも「優れた水」として認識され、また平成28年に実施された環境省の名水百選選抜総選挙では、4部門中2部門で日本一を獲得しているところ

一方、安曇野の原風景である湧水、また地下水は、かつてに比べてその量が減少したとの指摘があり、安曇野市の地下水の高さも下がってきていることがわかりま

このような中で、市では地下水問題を未然に防ぎ、健全な地下水環境を創り出すことを目指して、平成 25 年、地下水は市民の皆さん共有の財産として、地下水の適正な利用などを規定した「安曇野市地下水保全・涵養及び適正利用に関する条例」を施行し、また今年の 3 月には、安曇野市水環境の保全、強化、活用を進めるため、「安曇野市水環境基本計画」と「行動計画」を策定いたしました。

水は、先人からの^{おくりもの}贈り物であり、安曇野市の豊かな水環境と地域経済を両立する形として次世代へ引き継いでいくことは、現代に生きる私たちに課せられた責務としており、今後は持続可能な水環境を図るべく、様々な施策を講じて参ります。

武田議員にもその一翼を担っていただきますようお願いいたします。

【中学生議会 市長答弁様式1】環境にやさしいまち②

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	かみや さち 神谷 咲智議員
発言順(通し番号)	NO:17	所 管 課 名	環境課

質 問 事 項	特定外来生物について
具 体 的 な 内 容 (質問取り事項)	特定外来生物に関する環境への害について記載した チラシなどを各家庭に配布。

【市長答弁】

次に、^{かみや}神谷議員の質問にお答えいたします。

安曇野市には、安曇野市の多様な自然環境のもと、さまざまな野生生物が生息・生育しています。

平成26年に発行された「安曇野市レッドデータブック」には、この安曇野市で確認されている2,500種以上の植物、4,350種以上の動物が紹介され、市内において301種の絶滅のおそれのある野生生物の情報及び重要な自然環境について記載し、また市の自然環境に悪影響を及ぼす可能性のある生物として、アレチウリ、オオキンケイギク、ウシガエルなどの41種の外来生物である動植物が選定されています。

近年では、地域外から侵入してくる外来生物が増加しており、在来植物や高い木を覆おおいつくすなど、動植物の生態系に悪影響を与えたり、在来生物を捕ったり、食べたりすることなどに注意が必要となっています。

特にアレチウリは河川沿いを中心に市内全域に分布しており、場所によっては広範囲に繁殖して在来植物に影響を及ぼしており、このため、市内各区により、アレチウリの一斉駆除を行っております。

このままでは、安曇野の豊かな自然が失われてしまうため、安曇野の自然・生きものを守るよう、これからも市としましては、市民の皆様の協力を得ながら、特定外来生物の駆除の取り組みを行って参ります。

神谷議員にも取り組みに参加していただくことを期待しております。

詳しい内容については、担当部長よりお答えします。

【中学生議会 市長答弁様式1】環境にやさしいまち③

質問区分	中学生議会	議員名	待井みちる議員
発言順(通し番号)	NO18	所管課・室名	廃棄物対策課

質問事項	廃棄物の問題について
具体的な提言	小中学校で児童会・生徒会のボランティア活動としてゴミ拾い 不法投棄の問題点をまとめてホームページなどで見てもらう。

【市長答弁】

最後に、待井議員のご質問にお答えいたします。

大量生産、大量消費型の経済活動は、大量廃棄型の社会を形成し、依然として最終処分場の不足に影響を及ぼすなど廃棄物処理を取り巻く状況は、深刻な問題となっています。

さらに、廃棄物の処理は、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出による地球温暖化問題、天然資源が尽きてしまうことの懸念、自然破壊など様々な環境問題にも密接に関係し、また、私たちの生活環境にも、大きな影響を及ぼすことになるものと考えられます。

この問題の解決のために、私たちの日常の生活スタイルを見直し、こうした社会構造から脱却し、環境への負荷が少ない「循環型社会」を形成推進することが重要です。

具体的に市では、自動車や特定家電、小型家電など、廃棄するのではなく形を変えて、再利用、再生利用しようとする循環型社会の構築を目指しています。

不法投棄の問題やポイ捨てについては、ルールを守らずに廃棄する行為であり、どこの市町村でも対応に困っているところではあります。

市では不法投棄を防止するため、不法投棄監視連絡員にパトロールをお願いし、ポイ捨てが多い場所に不法投棄禁止の看板を設置するなどの対策を取っています。

住みよい安曇野市をつくっていく上で、この自然豊かな環境を守っていくことは重要な課題の一つです。

待井議員の提案の「不法投棄をされない環境づくり、不法投棄を許さない地域の取り組みが重要である」ことに大いに賛同します。

ご提案のとおり、待井議員も、学校のボランティア活動や、不法投棄をしないよう多くの皆さんへ伝えていただければと思います。

大変意義のある提案をいただきありがとうございます。

環境にやさしいまちグループの、詳しい内容については、担当部長よりお答えします。

【中学生議会 部長答弁様式1】環境にやさしいまち①

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	武田 隆志議員
発言順(通し番号)	NO:16	所 管 課 名	環境課

質 問 事 項	安曇野の地下水について
具 体 的 な 内 容 (質問取り事項)	各家庭や、学校、公民館などの公共の場所などに、 節水しようシールを配布し、水道の近くに貼ってもらおう。

【部長答弁】

^{たけだ}武田議員のご質問にお答えします。

安曇野市の水、武田議員も学習されてご存じのとおり、地下水は私たちの生活や地域の産業振興にとって欠かすことのできない存在です。

市内では、地下水・湧水を利用したわさび栽培やニジマスなど養魚場等の産業が営まれ、そして私たちが毎日飲んでいる水道の水もまた、全て地下水です。北アルプスをはじめ、豊かな自然に育まれた地下水は、深さ100メートルを超える深井戸から汲み上げた、大変冷たくおいしい水であります。

私たちはこの水を大切に使っていかなければなりません。そのため、「水環境行動計画」に基づいて、節水に関する普及啓発のためのシンボルマークや、節水の重要性を伝えるパンフレット類の制作を進めております。

実際に、この10月に開催しました「環境フェア」において、地下水のしくみ、地下水資源の価値を知るための講座、また子ども向けの水の大切さを知る講座を開催しました。ご聴講いただいた中学校の先生に、是非、地下水に係る授業を行いたいとお話がありました。

武田議員のご提案である「各家庭や、学校、公民館などの公共の場所などに、“節水しようシール”を配布し、貼ってもらう」につきましては、水を利用される方が常に目にすることで、節水などを促す効果が高く、大変貴重な提案だと感じ、さらに研究してまいります。

今後市としましては、幅広い年齢層の市民の皆様に、水の恵みとその感謝から、節水を含め、地下水資源の価値、地下水を守る取り組み、安曇野の水の魅力などを伝え、発信していきたいと思えます。

武田議員も、是非節水などの普及啓発にご協力ください。貴重なご提案、どうもありがとうございました。

【中学生議会 部長答弁様式1】環境にやさしいまち②

質問区分	中学生議会	議員名	かみや さち 神谷 咲智議員
発言順(通し番号)	NO:17	所管課名	環境課

質問事項	特定外来生物について
具体的な内容 (質問取り事項)	特定外来生物に関する環境への害について記載したチラシなどを各家庭に配布。

【部長答弁】

かみや
神谷議員のご質問にお答えします。

特定外来生物の中で、特にアレチウリにつきましては、安曇野市内の広範囲に繁殖し、在来植物に影響を及ぼしているため、平成24年度から区との協働により、全地域で一斉駆除を行っております。

平成28年度は、54区7,644名の皆さんが参加され、またボランティア2団体63名、1事業所83名、合計7,790名の皆さんに参加いただきました。毎年参加人数は増え、特定外来生物駆除の必要性の認識が高まっていると感じております。

アレチウリは繁殖力が強く、拡大を防ぐには、たくさんの方の労力と時間が必要となります。

神谷議員から「特定外来生物に関する環境への害について記載したチラシなどを各家庭に配布したらどうか」という具体的なとても素晴らしいご提案がありました。ありがとうございます。市ではご提案のとおり、平成27年度から毎年6月に啓発チラシを配布しております。

チラシの掲載内容につきましては、議員ご提案の、特定外来生物と似ている生物との違い、環境へ及ぼす影響など、さらに皆さんに分かりやすい工夫をしたいと思います。

何れにいたしましても、拡大を防ぐには、たくさんの方の労力と時間が必要となります。神谷議員も是非、学校での駆除、また区の一斉駆除への中学生の参加をお願いしたいと思えます。

貴重なご提案、どうもありがとうございました。

【中学生議会 部長答弁様式1】環境にやさしいまち③

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	待井 ^{まちい} みちる議員
発言順(通し番号)	NO18	所 管 課 ・ 室 名	廃棄物対策課

質 問 事 項	廃棄物の問題について
具 体 的 な 提 言	小中学校で児童会・生徒会のボランティア活動としてゴミ拾い 不法投棄の問題点をまとめてホームページなどで見 てもらう。

【市民生活部長答弁】

待井^{まちい}議員のご質問にお答えします。

安曇野市内の山林や河川等に不法投棄され、回収した量は、この3年間横ばい状態となっており、決まった場所に捨てられるなど深刻な問題となっています。

安曇野市では不法投棄防止と投棄物の早期発見のため、15人の不法投棄監視連絡員の皆さんが、定期的に不法投棄が多い箇所を中心にパトロールを実施しております。

市民の皆さんや不法投棄監視連絡員から90件の不法投棄の通報があり、職員が現地に向かい内容調査を行いました。比較的捨てたごみが少量で、捨てた人が特定できた8件については、ごみを捨てた人に、適正に処理するよう指導を行ったほか、捨てたごみが大量で、捨てた人が特定できた、悪質な事案5件については、安曇野警察署に通報し検挙されました。

また、捨てた人が特定できなかった77件、約2.24tについては、市で回収を行いました。

待井議員も地域で参加していただいているかと思いますが、地域から不法投棄などを出さない環境づくりに向けて、毎年5月と11月に安曇野市一斉清掃日を設け、各区や自治会、事業

所の皆さんに清掃を行っていただいております。本年5月には109団体、延べ18,150人の皆さんにより、約6,330キログラムのごみが回収されました。

あわせて、豊科南小学校では、独自の取り組みとして「拾ヶ堰クリーン大作戦」という清掃活動を全校生徒で行っていただきました。

その他、道路沿いに花を植栽する活動に取り組まれている地域があり、ポイ捨て防止への効果がもたらされています。

さらに市では、待井議員のご提案のとおり、市ホームページや出前講座、啓発看板の設置等、周知広報活動をより一層充実させていきたいと考えていますし、また市民の皆さんへの奉仕活動への支援という点では、不用食器回収ボランティアや地区の集積所の清掃活動など、ごみの減量化・環境美化活動への支援を今後も継続していきます。

また、ご提案の小中学校の美化ボランティアの報酬として肥料や花の苗を置くことについては、今後、教育委員会とも協議させていただきたいと考えております。

今後も、待井議員をはじめ、議員の皆さんも、学校生活を通じて環境活動について学び、住みよい安曇野市づくりにご協力いただければと思います。

貴重なご提案ありがとうございました。